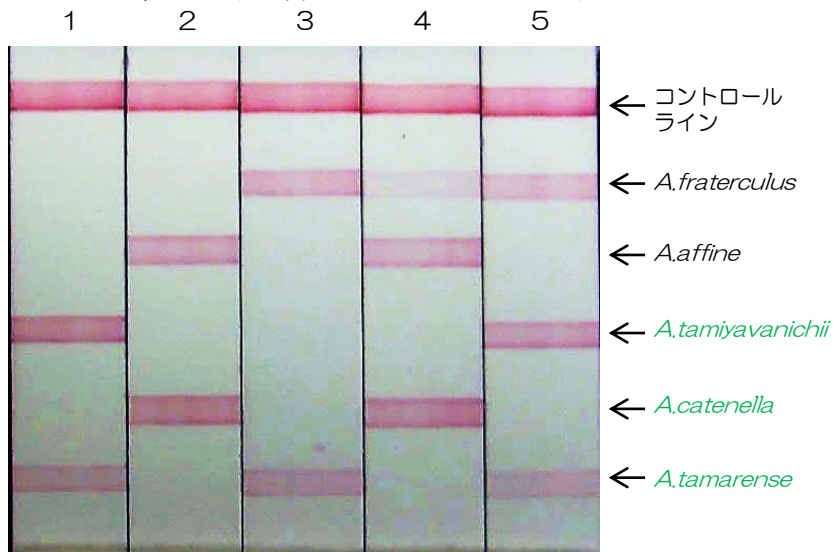


プレスリリースはこちら→ <http://www.kaneka.co.jp/service/news/140715>

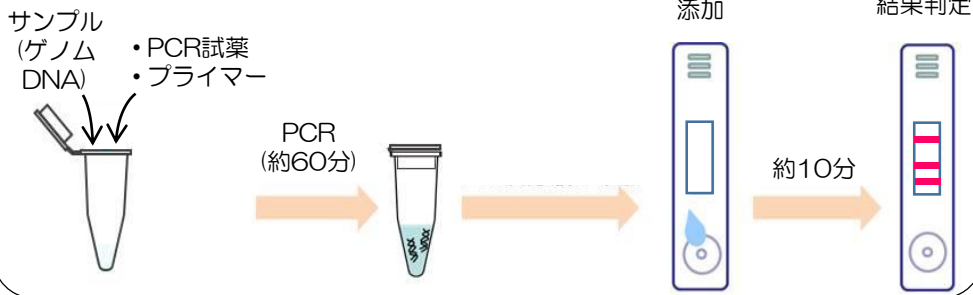
特長

- ✓ PCR後、約10分でターゲットの遺伝子を目視検出
- ✓ 同時に複数種のプランクトンの判定が可能
- ✓ エチジウムブロマイドなど電気泳動に用いる危険試薬が不要

<データ例> 5種類のプランクトン判定*1



<操作手順>



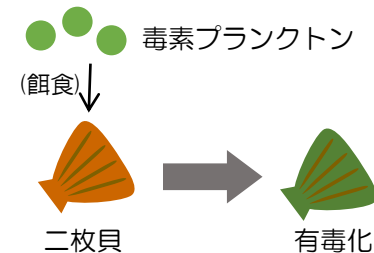
- 1 *A.tamarensis* + *A.tamiyavanichii*
- 2 *A.catenella* + *A.affine*
- 3 *A.tamarensis* + *A.fraterculus*
- 4 *A.catenella* + *A.affine* + *A.fraterculus*
- 5 *A.tamarensis* + *A.tamiyavanichii* + *A.fraterculus*
(緑文字表記：貝毒プランクトン)

*本品は研究用途としてのみ使用して下さい。尚、ヒト、動物への医療、臨床診断等に使用しないでください。

<貝毒プランクトン>

貝毒：主に二枚貝が毒素を持った植物プランクトンを餌として食べることによって、体内に毒を蓄積させる現象。毒が蓄積した貝類をヒトが食べると中毒症状を引き起こすことがある。*2

貝毒プランクトンの検査では、顕微鏡観察によるプランクトン種の判定が主に用いられているが、外観が似ているため経験豊富な検査技術者を必要とする。



*1 参考文献：“Easy detection of multiple Alexandrium species using DNA chromatography chip” S. Nagai et al, *Harmful Algae* 2016, 51, 97

*2 出典：「貝毒の特徴」(農林水産省HP) (http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/gyokai/g_kenko/busitu/O1a_tokucyo.html) (2016年10月24日アクセス)